

議会だより 第8号

時代を託された10人

第18代 議会の船出



議会を傍聴してみませんか 次回の定例議会は**9月**です
(手続は住所・氏名を書くだけです) 詳しくは議会事務局Tel 44-0319 まで



是は是、非は非 常に村民の目線で

議長 富山 憲治

5月の初議会におきまして、議員の皆様のご推挙により、不肖ながら第18代議長に就任いたしました。

この職責の重大さを改めて痛感すると共に、村政の発展と議会の円滑な運営のため、誠心誠意、努力する所存でございます。

村財政においては、限られた財源で、より効果が発揮できるかが問われる時代であります。本村繁栄のための課題解決に向けては、議会一丸となり、行政にはつかず離れず、そして是は是、非は非の節度を持って、常に村民の目線に立った議会活動に徹し、更なる住民福祉の向上を目指すと共に、安心・安全の村づくりに邁進してまいります。

村民の皆様、尚一層のご支援を心からお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



円滑な議会運営に 誠実に努める

副議長 小野 頼年

この度、5月の臨時会におきまして、議員各位から副議長のご推挙を賜りまして、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。

今後、副議長の職務を遂行し、議長の補佐役として、村政の推進と議会の公正かつ円滑な運営に誠実に努めてまいります。

現在、地方は多くの課題を抱えており、本村も例外ではないため、地方創生を見据えて創造的な思考と行動力が試される時であります。

村民の付託に應えるべく、村民の目線で「日本一安心な村」「選ばれる水上」の実現を目指し鋭意努力してまいります。

今後とも村民の皆様方には、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

村の振興発展のために粉骨碎身の覚悟

中嶽村長所信表明

第2回6月定例会



平成27年第2回（6月）定例会が6月16日から17日までの2日間の会期で開催され、条例5件、報告1件、27年度各会計補正予算5件、慎重に審議された結果、原案どおり可決されました。

冒頭、中嶽村長から、「責任の重大さに改めて身の引き締まる思い。村の振興、発展のために粉骨碎身の覚悟。」と所信表明がありました。

また、（株）みずかみに係る決算状況や運営改善等について、調査、検討するために平成25年9月の定例会において設置した「第三セクター調査特別委員会」については、今後も引き続き調査、検討が必要であることから、議長発議により「第三セクター特別委員会」に改名し、再び設置することに決定しました。

一般質問には、3名の議員が登壇し、執行部への考えを質しました。

村長諸般の報告

○27年度熊本県球磨地域振興局管内主軸事業（水上村管内）

・農林部関係

8億1,640万円（森林環境

保全整備事業ほか）

・土木部関係

3億2,000万円（県道五木

湯前線関連ほか）

・市房ダム関係

7,600万円（堆砂排除事業

ほか）

○予防接種の過誤

本村保健センターにおいて5月11日、生後12ヶ月から接種すべき「麻疹風しん混合ワクチン」を、誤って11ヶ月児に接種。直接の医療行為は接種医が行ったものの、問診記載事項の確認行為は保健師に課せられた職務

条例

であり、今後は細心の注意を払い再発防止に努める。

○水上村介護保険条例の一部を改正する条例

平成27年4月から、低所得者保険料年額を33,600円から30,240円に減額(5%)されました。

○水上村土地改良事業補助金交付条例の一部を改正する条例

圃場整備などの補助金の率が、45%から50%へ引き上げられました。

○水上村林道等工事受益者負担金徴収条例の一部を改正する条例

工事負担金の免除となる林道に湯山峠小崎線を追加しました。

○水上村営住宅管理条例の一部を改正する条例

昭和29年建設の北目団地1戸、昭和49年建設の岩野覚井団地2戸、下古屋敷団地2戸について、

傷みが激しいことから取り壊すため、管理条例から削除しました。

○水上村一般住宅管理条例の一部を改正する条例

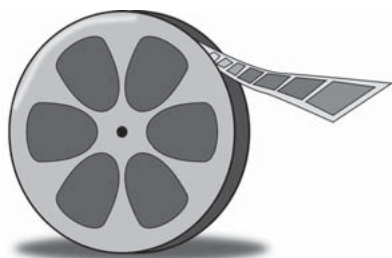
岩野覚井地区に一般住宅2戸が完成し、管理条例に追加しました。

予算

○平成27年度水上村一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に4億5,200万円を追加し、総額を24億3,100万円とするものです。

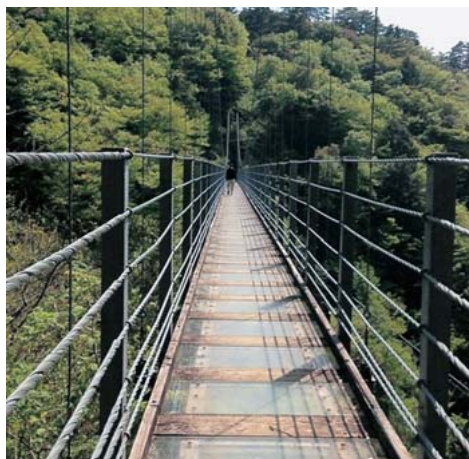
・議事会議録マイクロフィルム撮影等委託 542万円



・総合防災システム整備調査設計業務委託 1,000万円
・合併処理浄化槽設置整備補助 1,197万円

・幸野・高瀬地区揚水ポンプ改修 600万円

・商工業施設整備事業補助 1,035万円
(補助率を45%から50%へ引き上げ)
・白水つり橋改修 1,900万円

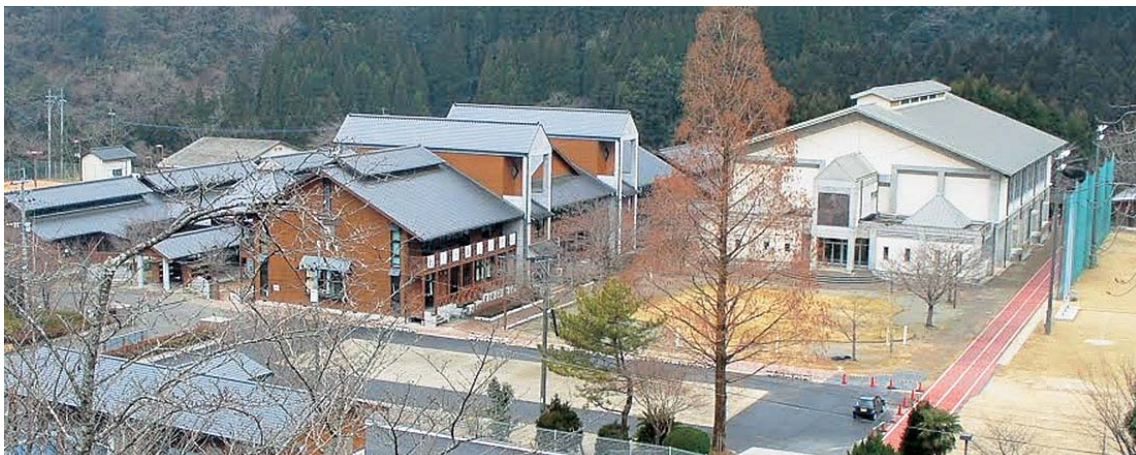


・道路新設改良 7,060万円

・道路舗装 4,300万円

・橋梁維持管理 6,170万円

・スクールバス購入 766万円
・水上中学校体育館屋根等改修 8,784万円



○平成27年度水上村国民健康保険特別会計（直診勘定）補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に35万円を追加し、総額を691万円とするものです。

○平成27年度水上村介護保険特別会計補正予算（第1号）

総額を3億3,080万円（財源補正）とするものです。

○平成27年度水上村簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に120万円を追加し、総額を3,840万円とするものです。

○平成27年度水上村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に400万円を追加し、総額を5,800万円とするものです。

報告

○平成26年度水上村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

特別委員会設置

○第三セクター特別委員会

前期に引き続き、（株）みずかみの運営改善に向け、調査、検討を行うために設置。

委員長 那須 正弘
副委員長 米良 哲

○広報特別委員会

議会の審議、活動状況を、住民の皆様に分かり易く周知していくために設置。

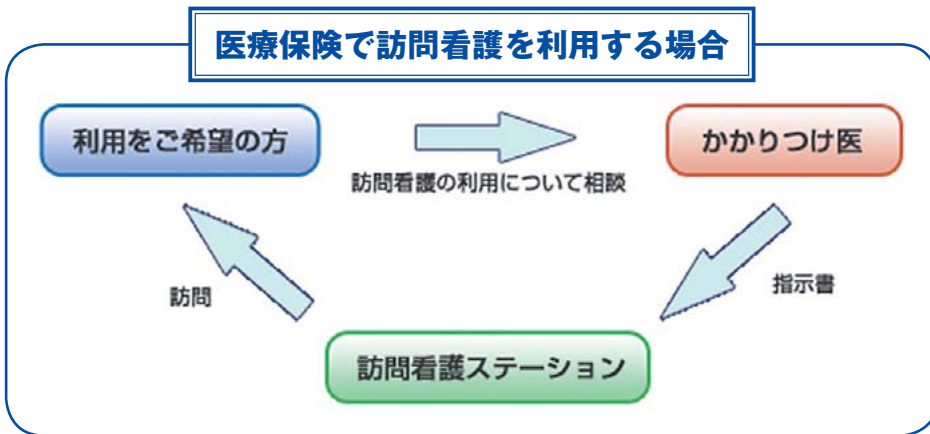
委員長 荒嶽 晋
副委員長 米本 宗徳

その他

○球磨郡公立多良木病院企業団規約の一部変更

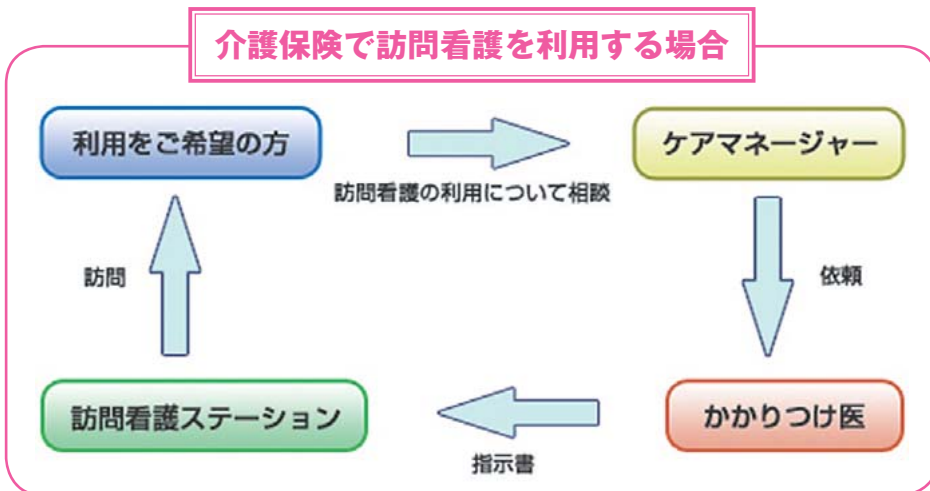
企業団の共同処理する事務に「訪問看護ステーションの設置及び管理運営」を追加しました。

医療保険で訪問看護を利用する場合



訪問看護ステーションとは
在宅でも安心して療養生活が送れるように、訪問看護師等がかりつけ医師と連携のもとに看護サービスを提供し、心身の機能回復を支援するもの。

介護保険で訪問看護を利用する場合



○議員派遣の件について
○継続審査申出書について



一般質問

考えを質す！



那須 正弘 議員

Q 選挙公約の 具体的構想は

A 小中学校の 給食費等ゼロに

問

選挙期間中に訴えてきた4つの項目の具体的構想は。

答

中嶽村長 「元気で輝くみずかみ、元気で笑顔あふれるみずかみ」をキャッチフレーズに4項目について訴えてきた。

①子どもとお年寄りにやさしい村づくり

②村民が活き活き働くことのできる村づくり

③共生・自立の村づくり

④村の行財政の健全化

そのほか具体策として、小中



学校の給食費無料化、高校までの医療費無料化、高校生への支援制度（通学定期代等）の創設。財源には、これまで基金造成を行っていた地方交付税の予算の

未計上額分（余裕分）を主要財源に考えている。また、行政・生産者・JA・商工業が連携した「産業推進機構」を設立し、村独自の農業システムを構築したい。

Q 三セク改革の必要性、構想は

A 産業推進機構を設立、販売の拠点に

問 第三セクター改革の必要性、基本的な構想は。

答 中嶽村長 平成24年2月から2年7ヶ月間で5,290

万円が赤字損失となった。現在、再建可能かどうか企業経営コンサルタントに調査を依頼している。結果は逐一報告する。また、

「産業推進機構」を設立し、村の特産物を販売していく拠点施設にしたい。

その他の質問事項

- 機構改革
- クロスカウンター施設整備



米良 哲 議員

Q 今までの事業の
継続と見直しは

A 内容等精査し
取り組む

問 今まで多くの事業が行われてきているが、今後どのように事業を推進されるか。

答 中嶽村長 今までの事業（奥球磨ロードレース・クロスカントリー整備・宅地分譲・一般住宅の建設など）は、総合計画も含め、内容等精査しながら取り組む。



奥球磨ロードレース

Q 国・県道の
整備促進は

A 今後も強く
要望活動を続ける

問 国道388号・県道上椎葉湯前線・県道五木湯前線の改良整備促進は。
答 中嶽村長 国道388号については、1.5車線化で県と協議して要望書を作成。県道上椎葉湯前線は扇原橋の工法を検討中。県道五木湯前線については、今後も促進期成会等で合同要望を行う。

その他の
質問事項
○選挙期間中
の公約と推移

長きにわたり村発展に寄与

勇退された2人から一言



在職24年（6期）
飯田 佳司さん

一期目からダム問題に関心をもち、球磨川河川整備計画策定にも取り組みました。結果はご承知のとおりであります。まだ進行形です。

第三セクターの問題は、本当に残念なことであり住民の信頼を取り戻せるよう望みます。

長い間、ご支援ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。



在職12年（3期）
立尾 一喜さん

地域創生が問われている今、若い議員、執行部、職員の皆さんには新聞、テレビ等マスコミから流れてくるあらゆる情報を分析し、産業面、観光面、それらの連携を模索して真の村の振興を目指してもらいたい。

村民の皆さんも「お互い様」の精神で辛抱できることは辛抱し、雰囲気の良い村創りに協力しましょうよ、そんなに裕福な村ではないんだから。



山崎 隆浩 議員

Q これからのイベントの在り方は

A 産業推進や地域振興も視野に

問 桜まつり・秋フェスタ in みずかみについての村の考えは。

答 田島企画観光課長 地域産業者・商工会・JA・森林組合・観光協会及び村が連携して、今後も一体となった地域産業の創造に取り組む。

中嶽村長 今までの楽しむイベントに加えて、産業振興や地域振興につなげていきたい。

Q 異業種間の連携はいかに

A 新しく産業推進機構を設立

問 異業種間の連携に対する推進方法は。

答 中嶽村長 農業のみならず、林業、商工業を加えた融合が必要。新しい産業を創造する組織体を設立し、生産技術の提案、

試作、そして視察や栽培研修会への参加、消費動向の調査を行う。



秋フェスタ in みずかみ

編集後記

「今年の梅雨は、やたら降ってますな。」あいさつの際、けっこう耳にする言葉である。梅雨だから降ってもらわねば困るが、降りすぎるのにも閉口する。

春先の長期予報では、今夏はエルニーニョ現象により冷夏になるらしいが、7月14日には群馬県館林市で39・3度を記録した。このままいけば8月には、40度超えの日々が、と考えるのはあさしかであろうか。

今年は大規模の発生も多いようである。8月から9月が大規模台風襲来の時期となる。日頃からの災害に対する準備を怠らぬにいたいものだ。

荒嶽 晋



広報特別委員会

委員長

荒嶽 晋

副委員長

米本 宗徳

委員

山崎 隆浩

米良 哲